

平成 29 年度次世代グローバルリーダー事業 「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」概要

グローバル化が進展する中で、あらゆる分野で国境を越えた協力・調整・交渉が不可欠となっており、国際社会・地域社会等でグローバル化対応を牽引・指導する次世代リーダーが必要となっている。

次世代グローバルリーダー事業は、世界各地から集まった外国青年とのディスカッションや文化交流を通して、相互理解を深め、有識者によるセミナーの受講や参加青年が自主活動を企画することによって、異文化対応力やコミュニケーション力を高め、リーダーシップやマネジメント力の向上を図り、併せて参加青年の国際的視野を広げ、国際協調の精神を育てることにより、国際化の進展する各分野でリーダーシップを発揮することができる青年を育成することを目的として実施する。

平成 28 年度事業では、日本及び世界 10 か国の青年等が参加し、日本及び海外 2 か国を訪問するとともに、船内において、多国間交流活動等を行うこととしている。

〈事業の概要〉 (注) 本概要は平成 29 年度予算政府案に基づく平成 29 年 1 月現在時点の予定であり、訪問国及び日程は、今後変更することがある。

1 本体プログラム

- (1) 訪問国
インド、スリランカ民主社会主義共和国
- (2) 日程
・平成 30 年 1 月 22 日 (月) から 27 日 (土) までの 6 日間 (陸上研修)
・平成 30 年 1 月 28 日 (日) から 3 月 2 日 (金) までの 34 日間 (船上研修)
- (3) 参加青年
日本参加青年約 120 人及び外国参加青年約 120 人が参加する。
- (4) 参加国
オーストラリア、インド、メキシコ、モザンビーク、オマーン、ペルー、ポーランド、南アフリカ、スペイン、スリランカ及び日本
- (5) 船内における活動
いくつかのコーステーマに分かれて行う「コース・ディスカッション」や各種セミナー、各国事情を紹介し合う「ナショナル・プレゼンテーション」、その他の多国間交流活動等を行う。
- (5) 日本及び訪問国における活動
地元青年等との交流を行うとともに、関連施設の訪問等を行う。
- (6) 共通語
本事業における共通語は、英語とする。

2 研修

青年海外派遣の効果を最大限に高めるため、日本参加青年に対して以下の研修を実施する(東京都内で合宿形式により実施)。

- (1) 事前研修
 - ア 時期及び期間
平成 29 年 9 月 8 日 (金) から 13 日 (水) までの 6 日間 (5 泊 6 日)
 - イ 研修目的
事業の趣旨、内容、訪問国等についての理解を深め、必要な諸準備を行うとともに、参加青年としての心構え及び訪問国における活動の基本を習得し、併せて出航前研修までの自主研修期間の準備と目標を明確にする。
- (2) 出航前研修
 - ア 時期及び期間
平成 30 年 1 月 20 日 (土)、21 日 (日) の 2 日間
 - イ 研修目的
船内及び訪問国における諸活動の準備、その他事業遂行上必要な諸準備を行う。

(3) 帰国後研修

ア 時期及び期間

平成30年3月2日(金)、3日(土)の2日間(1泊2日)

イ 研修目的

事業成果を取りまとめ、その成果を踏まえた事業終了後における諸活動への理解を深める。

3 参加青年の任務と選任等

(1) 任務

ア 日本参加青年は、団体行動の下に、研修及び本体プログラムに参加し、団務を分担する。

イ 日本参加青年は、帰国後、活動報告書を内閣府に提出する。

ウ 参加青年は、事業参加後およそ2年後、5年後、10年後に内閣府が行うフォローアップ調査(活動状況等)に回答する。

※また、事前研修後の自主研修期間にあつては、参加国についての知識や語学能力の向上に励むとともに、我が国の歴史や社会情勢の認識を深めるなど、積極的に本体プログラムの準備に努めなければならない。

(2) 選任等

ア 日本参加青年は、都道府県知事(青年国際交流主管課(室)が教育委員会に属する場合)又は全国的組織を持つ青少年団体等の代表者から中間選考を経て推薦された者の中から、内閣府が選考し、決定する。

イ 外国参加青年は、参加各国政府及び当該国を管轄する日本国在外公館等の協力を得て、内閣府が決定する。

4 乗船及び帰国

(1) 日本からの参加者は、陸上研修終了後、日本から乗船し、本体プログラムの終了後、日本で下船する。

(2) 外国からの参加者は、各国から航空機で日本に集合し、陸上研修終了後、日本からの参加者と共に日本から乗船し、本体プログラムの終了後、日本から航空機で帰国する。

5 経費

(1) 事業の実施のための経費((2)、(3)及び(4)に掲げるものを除く。)は、日本参加青年の出航前研修に参加するための国内上京旅費及び帰国後研修終了後の国内帰郷旅費(東京23区内在住の者を除く。)を含め、内閣府が負担する。

(2) 次に掲げる経費は、日本参加青年本人の負担とし、参加費として日本参加青年から徴収する。(30万円程度)ただし、経済的理由により参加費の納入が困難な場合については、参加費の免除を申請することができる(「応募要領」の「7 その他」参照)。

ア 運航期間中の傭船料の一部及び船内供食費(※1)

イ 事前研修、出航前研修、陸上研修及び帰国後研修における宿泊料等及び食費

ウ 入国査証料、旅行保険料等

(3) 日本における事後活動組織である日本青年国際交流機構への入会金(3万円)(※2)は、日本参加青年本人の負担とする。

(4) その他、以下の経費についても、日本参加青年本人の負担とする。

ア 事前研修に参加するための往復旅費

イ 旅券発行手数料、予防接種料

ウ 疾病又は傷害の治療費用及びそれに付随する費用

エ 小遣いその他の個人の用に必要な経費

(※1) 「傭船料の一部」については、参加青年として決定後、事業参加を辞退した場合には、返還しない。

(※2) 各事業に参加した後は、社会活動に取り組んでいる日本青年国際交流機構(内閣府の青年国際交流事業に参加した青年等が自主的に組織している事後活動組織)に入会して、そのネットワークを生かしながら様々な形で活動することが基本となる。

平成 28 年度次世代グローバルリーダー事業 「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」 プログラムの概要

1 陸上研修・船上研修

(1) 研修内容

ア コース・ディスカッション

「青年の社会参加」を共通のテーマに、「ダイバーシティ推進とインクルーシブ社会の実現」、「平和構築のための対話型アプローチ」、「責任あるツーリズム」、「青年のエンパワメント」、「国際貢献活動」、「防災活動のためのボランティア育成」の6コースに分かれ、各分野のファシリテーターによる指導の下、英語によるディスカッションを通じて、各分野に対する理解を深めるとともに、それらの各分野において青年が果たすべき社会的役割についての認識を深め、実践力の向上を図る。

イ 「異文化理解セミナー」、「リーダーシップ・セミナー」及び「プロジェクト・マネジメント・セミナー」

異文化対応力やコミュニケーション力を高め、リーダーシップやマネジメント力の向上を図り、社会の各分野において活躍するリーダーを育てるためのセミナー等を行う。

ウ グループ活動

活動の基礎単位として国籍混成で組織された A~K の 11 グループごとに、自国の文化・習慣の紹介、ゲームなどの自主的な活動を行うとともに、与えられたテーマに基づく活動等を行う。

エ ナショナル・プレゼンテーション (NP)

各国ごとに、参加青年が、華やかな伝統舞踊・音楽、厳かな儀式、ビデオ等により自国の政治、経済、社会、文化等を紹介する。

オ 自主活動・その他

多国間交流のための活動等を行う。

(2) 陸上研修・船上研修中の生活規則等

ア 生活時間

研修中は、通常7時30分起床、午前と午後にそれぞれ2時限（1時限：1時間15分）の研修、夕食後に1時限の研修を行い、23時就寝。

イ 船内キャビン割り

男性用のキャビンと女性用のキャビンは別エリア。1キャビンを異なる国の3人で使用（3人部屋）。

ウ 服装

服装は基本的に自由。ただし、表敬訪問、レセプション等公式行事の際には、フォーマルウェア又はナショナル・コスチューム（民族衣装）を着用。

2 訪問国活動

(1) ディスカッション・コース別視察

ニュージーランド及びフィジーにおいては、ディスカッション・テーマに関連した施設や団体等を訪問し、地元青年等とのディスカッションや文化交流などを体験。

(2) 現地の人との交流（交流プログラム、施設訪問等）

ニュージーランドにおいては、現地の学校を訪問し現地青年との交流を行うほか、マラエと呼ばれるマオリの集会所を訪問し、マオリの伝統文化を直接体験。

フィジーにおいては、現地青年との文化交流会を開催するほか、村訪問を行いフィジーの伝統文化を直接体験。

(東回り)		平成28年度次世代グローバルリーダー事業日程(案)				
		午前① (陸上)9:15~10:30 (船上)9:30~10:45	午前② (陸上)10:45~12:00 (船上)11:00~12:15	午後① (陸上)14:15~15:30 (船上)14:15~15:30	午後② (陸上)15:45~17:00 (船上)15:45~17:00	夜 (陸上)20:00~21:00 (船上)20:00~21:00
1	1月17日(火)	外国参加青年来日				
2	1月18日(水)	時差調整・体調管理	10:00~12:00/12:00~14:00 オリエンテーション、歓迎会			
3	1月19日(木)	地方プログラム(表敬訪問、歓迎会)				
4	1月20日(金)	地方プログラム(ホームステイ)				
5	1月21日(土)	OPY: 地方プログラム(ホームステイ) JPY: 出航前研修				
6	1月22日(日)	OPY: 地方プログラム(東京へ移動) JPY: 出航前研修				アイスブレイキング
7	1月23日(月)	全体オリエンテーション	異文化理解セミナー①(対人関係)		クラブ活動紹介	
8	1月24日(火)	都内視察				
9	1月25日(水)	リーダーシップ・セミナー①	コース顔合わせ	LG、委員会決め		委員会活動
10	1月26日(木)	コース・ディスカッション①	課題別視察			NP練習
11	1月27日(金)	スポーツ&レクリエーション①	休日			
12	1月28日(土)	NP①(各国事情紹介)	コースディスカッション②		オリセン退所説明	
13	1月29日(日)	プロジェクトマネジメント・セミナー①	横浜港へ移動	乗船	ADMオリエンテーション	
14	1月30日(月)	9:00-10:30 / 10:45-11:00 / 11:15-11:45 出国手続き、船側オリエンテーション、避難訓練	13:30-15:00 / 15:00-15:30 オープンシップ、出航式	16:00 横浜出港		管理官講話
15	1月31日(火)	リーダーシップ・セミナー②	船長講話	委員会活動	心理学セミナー	
16	2月1日(水)	休日				
17	2月2日(木)	スキルセミナー①	NP②(文化紹介)日本、トンガ、ニュージーランド			
18	2月3日(金)	異文化理解セミナー②	NP②(文化紹介)コスタリカ、カナダ、ウクライナ、フィジー			
19	2月4日(土)	PYセミナー①	NP②(文化紹介)エジプト、ブラジル、インド、ケニア			
20	2月5日(日)	コース・ディスカッション③	休日			
21	2月6日(月)	リーダーシップ・セミナー③	クラブ活動①			
22	2月7日(火)	PYセミナー②	委員会活動	デリゲーション・ミーティング	アドバンスセミナー (選択制)	
23	2月8日(水)	入港9:00 出港19:00	ポートビラ寄港(給油・給水)			
24	2月9日(木)	アドバイザー・セミナー	コース・ディスカッション④			
25	2月10日(金)	PYセミナー③	公式写真撮影	ブリッジツアー	アドバンスセミナー (選択制)	
26	2月11日(土)	リーダーシップセミナー④	14:15-15:15 団長講話	訪問国活動準備		
27	2月12日(日)	入港9:00	オークランド入港	訪問国活動(ニュージーランド)		
28	2月13日(月)	訪問国活動(ニュージーランド)				レセプション
29	2月14日(火)	出港18:00	訪問国活動(ニュージーランド)	オークランド出港	振り返り	
30	2月15日(水)	公式写真撮影		クラブ活動②		
31	2月16日(木)	休日				
32	2月17日(金)	入港14:00	訪問国活動準備	スパ入港	レセプション	
33	2月18日(土)	訪問国活動(フィジー)				
34	2月19日(日)	訪問国活動(フィジー)				
35	2月20日(月)	出港12:00	スパ出港	振り返り	委員会活動	デリゲーション・ミーティング
36	2月21日(火)	スキルセミナー②		クラブ活動③		
37	2月22日(水)	コース・ディスカッション⑤		スポーツ&レクリエーション②		
38	2月23日(木)	入港12:00 出港22:00	プロジェクトマネジメント・セミナー②	ホニアラ寄港(給油・給水)		
39	2月24日(金)	事後活動セッション①		キャリアセミナー (管理部主催、選択制)		
40	2月25日(土)	事後活動セッション②		エキシビション(クラブ活動の成果発表)		
41	2月26日(日)	休日				
42	2月27日(月)	異文化理解セミナー③(Re-entry)		サマリー・フォーラム準備		
43	2月28日(火)	リハーサル		サマリー・フォーラム		
44	3月1日(水)	評価会		修了式	下船説明	フェアウェルディナー
45	3月2日(木)	下船準備				
46	3月3日(金)	入港8:00	東京帰港	11:30 解散式・解散交歓会	下船	(外国参加青年は成田空港へ、 日本参加青年は帰国後研修へ)
47	3月4日(土)	日本参加青年帰国後研修				